



練馬区立開進第一中学校

開進一中だより

平成26年度 第3号 発行日：平成26年6月13日(金)

強い意志

校長 古山 真樹

「これまで支えてくれた両親、先生方、すべての方々に心から感謝しています」と始まり、東日本大震災に思いを寄せて、「過去を変えることはできません。ですが、私たちには未来を変えられる力があると信じています。」と3年生の細野渚君、直井沙耶さんの感動的な宣誓でスタートした運動会。それぞれの競技に真剣に頑張る姿は清々しく、若い力の躍動を感じました。しかしながら、最もすばらしかったのは、女子の「よさこいソーラン」と男子の「組体操」を完成させるまでの練習の過程です。勝敗を競うわけでもないのに、それぞれが自分たちの名誉のために、振り付け・動きを徹底的に体にしみこませたり、痛さや苦しさに耐えて目標を達成しようとした強い意志。これが開進一中の運動会の意義です。見事にやり遂げた君たちには、自信と勇気が芽生え、その達成感が今後の可能性をさらに伸ばし、人生を切り開いていく原動力となることでしょう。

さて、中間考査が目前に迫っています。運動会と同じように強い意志をもって勉強を進めていますか。勉強というのは、学習した内容をしっかりと理解し、活用・応用できるところにあります。視点を変えると、自分の弱い心との戦いと言ってもよいでしょう。「今日は気分が乗らないから、勉強は明日からにしよう。」「部活の大会があるから、今回のテストは無理だよ。」「苦手な教科はやってもしょうがないよ、わからないんだから。」と自分を甘やかしてしまいがちです。自分の都合のいい言い訳ばかりをする人は、やがて、「勉強なんて意味ないよ。」「勉強なんて生きていくのに役立たないよ。」と今度は、自分の意志の弱さを開き直り、肯定しようとしてしまいます。これでは、生きていくのに大切な意志の強さは育たず、嫌なことからは、どんどん逃げていく人生を歩んでしまいます。人は一つのことをあきらめると、これもあれもとあきらめるようになってしまいます。負の連鎖です。

勉強、とりわけ試験勉強は、単に「頭を鍛える」だけでなく「心を鍛える」大切な役割をもっているのです。三年生の皆さんは、8カ月後に高校入試が控えています。このような長丁場では、より一層、自分の強い意志が試されます。

人間を頑張らせる原動力は、夢、希望であり高い目標です。「5段タワーを建てるぞ」と同じように「何としてもあの高校に入学したい。」「将来、自分は弁護士になるんだ。」といった目標・夢が人を頑張らせます。遠い夢でも、目の前の一つ一つの小さな目標を超える努力を根気強く積み重ねていくことです。

「全員が満点を取れ」とは言いません。「前回平均点が75点だったから、今回は80点を目指すぞ」「去年は数学が2だったからなんとか3にしよう」と、一人ひとりの目標は違っていいのです。大事なものは、目標に向かって、強い意志をもって、努力することです。あきらめないことです。自分を甘やかさないことです。

君たち開一中生には、運動会を通じて、困難に屈しない、粘り強く最後まで着実にやり抜く強い意志が宿ったはず。自分の精一杯の努力を試験にぶつけましょう。



第68回 運動会 を終えて

5月31日（土）晴天の中、たくさんの保護者の方々、地域の方々のご協力のもと、開進第一中学校第68回運動会が盛大に行われました。



私たちには未来を変える力があると信じています

運動会2日前、前日に立った4段が立たない。もう時間が無い。5段に挑戦するが2段目すら立たず気持ちが焦る。運動会前日、技術的な事は言い尽くした。あとは精神的な事だ。何を話すか前の晩から考えた。5段の崩れる景色がフラッシュバックして眠れない。3年男子に勇気を与える話が何か無いか。苦しんだ末に思い浮かんだ。2年前の何度崩れても決してあきらめずに挑戦し、本番4回目、4段目の者が足が外れても14秒待って立てた根性の5段タワー。3年男子の顔色が変わった。前日練習2回目に5段が立った。私は迷わず彼らに言った。「もう1回挑戦する」。そして2回目も立った。昨日の不安がこれでやっと吹っ飛び今年はいけると確信した。その日の開進一中みんなに見てもらおう体育館のお披露目でも見事に立った。5段タワーを間近に見たある女性の先生の言葉。「3段目の人見くん、山口翔くん、山口慧くん、一瀬くん、沼尻くんが肩の重さに耐え歯を食いしばって必死にバランスを保っている顔を真下から見て涙がこぼれました」。

運動会本番、2回目「5段タワーは立つぞ」3年全員で気合いを入れて挑戦する。2段目から立ち上がる度に風が吹いてきた。3段目、4段目、5段目が立つ瞬間に強風がタワーに襲いかかる。「耐えろ宮部」。宮部はなんと片手を天に突き上げ余裕のポーズ。

今年の選手宣誓の言葉「過去を変えることはできません。ですが、私たちには未来を変えられる力があると信じています」。3年男子は今年の開進一中をさらに立派な学校に築いて行ってくれるものと信じている。

保健体育科 崎 秀 夫

私が開進第一中学校に来て、はや3年がたち、去年から運動会の「よさこいソーラン」を担当してきました。今年は、3年生リーダー細澤樹奈さんと副リーダー清水あかねさんを中心に踊りや隊形を作り上げました。思い返すと、今の3年生は、1年生から一緒に授業や臨海学校などをともにした生徒たちでした。今年の運動会のために、彼女たちが1年生の時から、冬に行く連合ダンス発表会でも運動会を意識して取り組んできました。

今年のテーマは[真の女子力を見せつけろ！]でした。私が好きな言葉が入っており、3年間教えていると、考え方が似てくるのかなと共感する部分を持ちながら彼女たちの動きを見ていました。1舞での創作ダンスでは、去年の反省を生かし、生徒たちに無理させないように移動を歩きにしてみようとふと思いついたのがきっかけで、全員で足並みをそろえた集団行動を取り入れました。実際に行ってみると、一人一人の歩幅が違って隣となかなか合わなかったり、音楽に間に合わなかったりと問題点も多くありましたが、他の女性の先生のご協力の下、隊形移動を上げることができました。

2舞のよさこいソーランでは、1番大変な隊形をリーダーと副リーダーが1年生に、2年生の代表生徒が同学年に、3年生の代表生徒が同学年に、立ち位置を指示してとても立派に動かしてくれました。よく考えながら指示を出していたことに驚きました。3年生が立派に伝統を引き継いでくれたおかげで、2年生は良き手本となり、また上級生とのパイプ役を立派に果たしてくれました。1年生も一生懸命、先輩の姿を見て努力してくれたおかげで、全学年による『真』の文字を完成させることができました。やったー。後輩の皆さん、しっかり先輩の意思と伝統を受け継いでさらに立派な学校を築いていきましょう。

全学年の女子の皆さん、本当に『真の女子力』を出してくれて、女性の先生方、暑い中協力していただき、誠にありがとうございました。

保健体育科 金村 紘世





宣誓

私たちは今日、第六十八回運動会を迎えることができました。これまで支えてくれた両親、先生方、全ての方々に心から感謝しています。今年、東京オリンピックの開催が決まりました。様々な競技の選手が、いま六年後のオリンピックに向けて努力しています。私たちもその姿に学び、今日この運動会に全力で取り組みたいと思います。

今まで日本は、東日本大震災をはじめ多くの悲しい出来事を経験してきました。しかし、その度に協力し合い、悲しみを乗り越え、前に進んできました。

過去を変えることはできません。ですが、私たちに未来を変えられる力があると信じています。

友を信じ、己を信じ、誰もが最後まであきらめず、全身全霊で正々堂々と戦い抜くことを誓います。

生徒代表

三年三組 細野 渚
三年一組 直井 沙耶



6月の主な予定

- 14日(土) 第2土曜授業日
1学年臨時保護者会
- 16日(月)・17日(火)
1学期中間考査
- 23日(月) 専門委員会
- 25日(水) ①カト 4時間授業
- 30日(月) ⑥生徒総会